

ブラジル・ウィークリー

2018年8月13日発行号
作成：日興アセットマネジメント



先週の ブラジル株式市場 の動き (8月6日～8月10日)

ブラジル株式市場は、ボブスパ指数で前週末比▲6.0%となり、週間ベースで7週ぶりの下落となりました。6日(月)は、各陣営で副大統領候補が選ばれるなど大統領選挙に関する新たな材料が出る中、利食い売りが優勢となり、下落しました。7日(火)は、商品価格や米国株式の上昇が好感されて買いが先行したものの、市場で人気が高い大統領候補のネガティブな報道を受けて、大統領選挙に関する不透明感が強まったことなどから、続落しました。8日(水)は、原油価格の急落や、米中の貿易対立が激化したことに加え、米国がロシアに対する新たな制裁を発表したことが嫌気され、大きく下落しました。9日(木)は、米国とトルコ、ロシア間の地政学的な緊張の高まりが嫌気され、続落しました。10日(金)は、トルコリラが急落したことを受けた、投資家のリスク回避の動きの強まりとともに新興国株式が大きく売られる展開となり、ボブスパ指数は前日比▲2.9%と週の中で最も大きく下落しました。

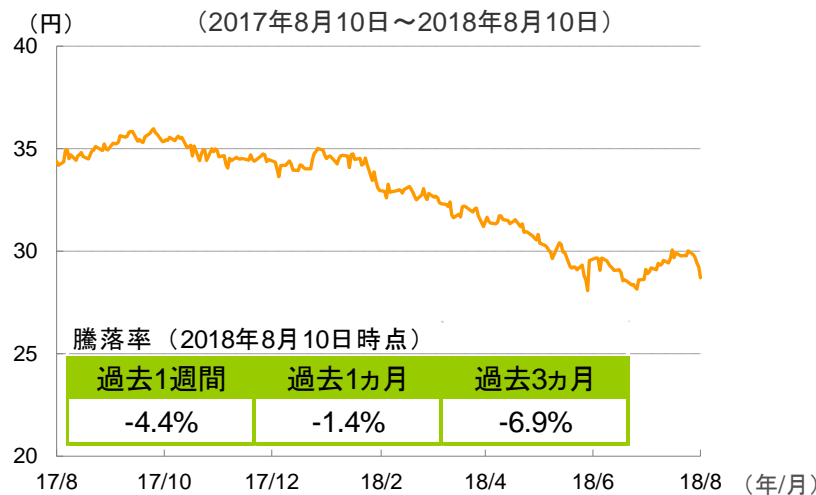
ボブスパ指数の推移

(2017年8月10日～2018年8月10日)



レアル(対円)の推移

(2017年8月10日～2018年8月10日)



8月10日時点(過去1週間=8月3日、過去1ヵ月=7月10日、過去3ヵ月=5月10日との比較)、なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。